

8-4-14 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を8回(4月、5月、6月、7月、8月、10月、11月、12月)開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8回の会議のうち、4回はWeb会議とした。

(2) 現地視察・意見交換会の開催

海岸・海洋セミナーの開催に先立って、まちづくりを含めた様々な対策において先行している津波対策事例を参考に今後の海岸保全のあり方について議論することを目的として、高台移転等を含む津波対策が進められる高知県黒潮町を現地視察するとともに、建設コンサルタント業務の拡大と役割分担について意見交換を行った。

【実施日】令和4年9月2日(金)

【現地視察】高知県黒潮町(津波避難タワー、入野海岸(砂浜美術館)、黒潮町役場等)

【参加者】

- ・高知工科大学システム工学群 佐藤 慎司教授
- ・黒潮町情報防災課 宮上南海地震対策係長
- ・海岸・海洋専門委員会委員 10名

(3) 海岸・海洋セミナー(第14回)の開催

気候変動に関連して海岸行政が大きな転換期を迎える中、これからの海岸保全のあり方について考え、建設コンサルタント業務の拡大と役割について議論することを目的としてセミナーを実施した。

- テーマ:「これからの津波対策～事前復興、まちづくり、気候変動への対応を考える～」
- 日時:令和4年12月15日(木)13:00～17:00
- 場所:建設コンサルタンツ協会(Web配信)
- 参加者数:約250名
- 講演概要

【講演1】

「犠牲者ゼロをめざす黒潮町の地震・津波対策」

黒潮町役場 南海地震対策係長 宮上 昌人

【講演2】「津波に対する海岸保全施設整備計画のための技術ガイドライン」の概要―減災アセスメントの考え方と社会実装―

東京海洋大学 学術研究院 教授 岡安 章夫

【講演3】

「不確実性を考慮した今後の海岸保全の提案」

関西大学 環境都市工学部 准教授 安田 誠

【講演4】

「南海トラフ事前復興×気候変動×人口減少」

高知工科大学システム工学群 教授 佐藤 慎司

まちづくりと一体となった海岸整備の取組として、宮城県大谷海岸の事例について御講演いただいた。

【全体討議】

上記の講演者と国土技術政策総合研究所 河川研究部海岸研究室 室長 加藤 史訓氏による全体討議を実施し、気候変動の影響下における海岸保全のあり方について講師の方から多くの意見を頂いた。

(4) RCCM 自主学習教材の改訂について

RCCM 自主学習教材に関し、「河川、砂防及び海岸・海洋」の講義の一部資料の改訂を行った。

2. 次年度の活動について

これまでの活動内容を踏まえ、以下の活動を継続的に行う予定である。

- ・沿岸域の総合的な管理に関わる情報収集と検討課題の把握
- ・海岸の現地視察と意見交換会
- ・令和5年度海岸・海洋セミナーの開催による技術情報の発信

(海岸・海洋専門委員会委員長 神保 正暢)